

70年以上変わっていない「保育士配置基準」の改善を!

自治労連
愛媛県本部
保育部会
089-931-7312

子どもたちにもう一人保育士を!!

コロナ禍や相次ぐ「送迎バス置き去り」事故や子どもの人権が守られていない保育のニュースなどで、不十分な保育士配置基準を、日本中の多くの保育士が再認識しました。

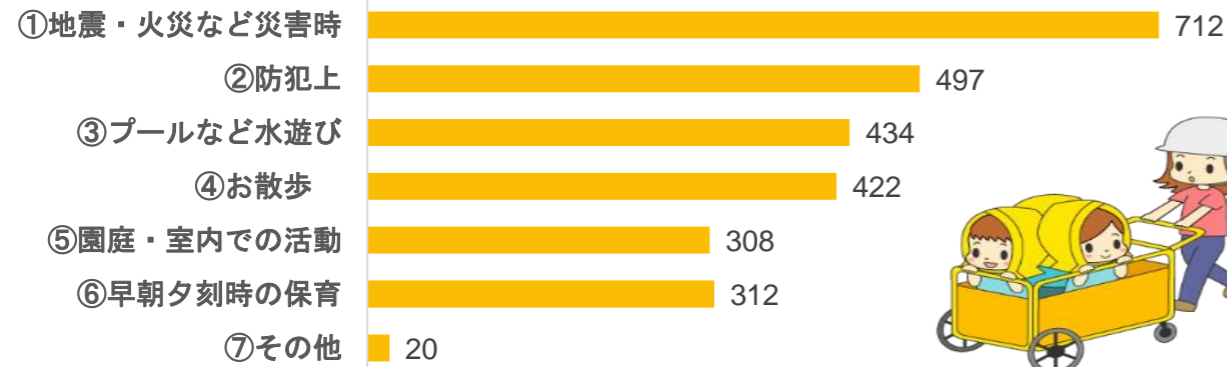
国が定める保育士の配置基準は1948年(74年前)に定められ、一部は見直されましたが、半世紀以上変わっていません。

自治労連愛媛県本部は、愛知県本部の運動に呼応し、より一層大きな声を自治体・国へと届けていきたいと考え、「子どもたちにもう一人保育士を! 保育士配置基準を考えるアンケート」に取り組み、807人の声を集めました。

私たち保育士は「子どもがまんなか」を合言葉に、保護者や地域の人たちなど多くの大人が手をつなぎ、すべての子どもがより良い保育を受けることができる保育所にしていきたいと願っています。この貴重な声を愛媛からも発信し、保育士配置基準改善の大きなうねりを作りたいと思います。

《アンケート結果報告》

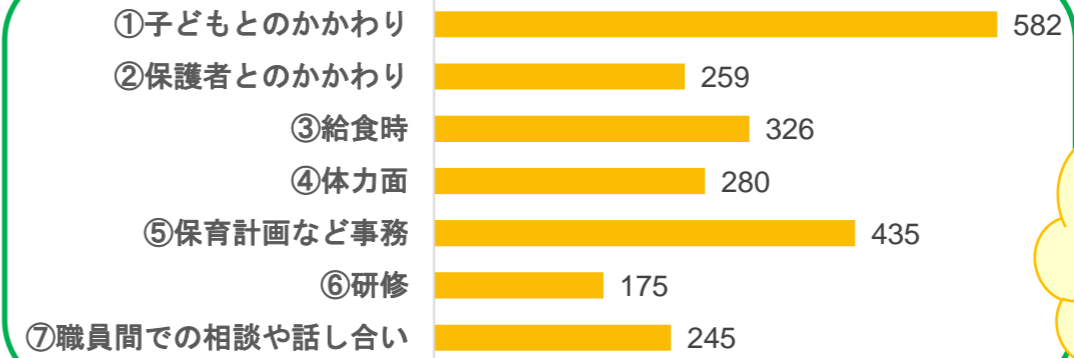
★現在の保育士配置基準では子どもの命と安全を守れないと思う場面(複数選択)



★そう思う理由を具体的に(抜粋)

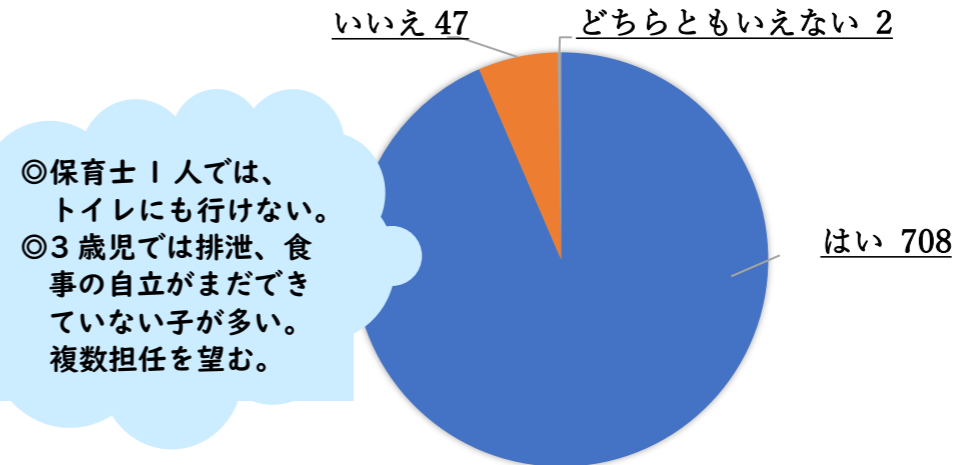
- ◎常に人数不足の状態であるため、子どもの熱が出た、嘔吐した、というトラブルに対応している時など、他の子へ目を向けることができなくなることが多い。
- ◎配慮の必要な子どもが多く、日々の活動でも危険を伴う場面では子どもの命を守るためには保育士が足りていない。
- ◎保育士一人ではトイレに行くこともできない。幼児でも排泄の失敗、嘔吐など緊急時、他の子を見ることなどできない。
- ◎乳児などまだ自分で歩けない子もいる。1歳児6人をどうやって一人で園庭まで連れ出せるのでしょうか! 3人がやっとです。保育士が抱っこして逃げたとしても限界がある。
- ◎人手不足。月齢・年齢に合った保育士の人数が適切ではないと思う。
- ◎一人ひとりに目を向けているつもりだが、目が行き届いていない時が多い。
- ◎ずっと気を張り詰めていると思う。トイレ(先生)に行くこともできないのではないか。危機感を感じる。安心して預けられる保育所を。(保護者)

★現在の保育士配置基準で大きな負担や十分にできないと感じるもの(複数選択)



配慮を必要とする子どもが増えてきており現在の配置基準では不安

★幼児クラス(3・4・5歳児)でも複数担任が良いと思いますか

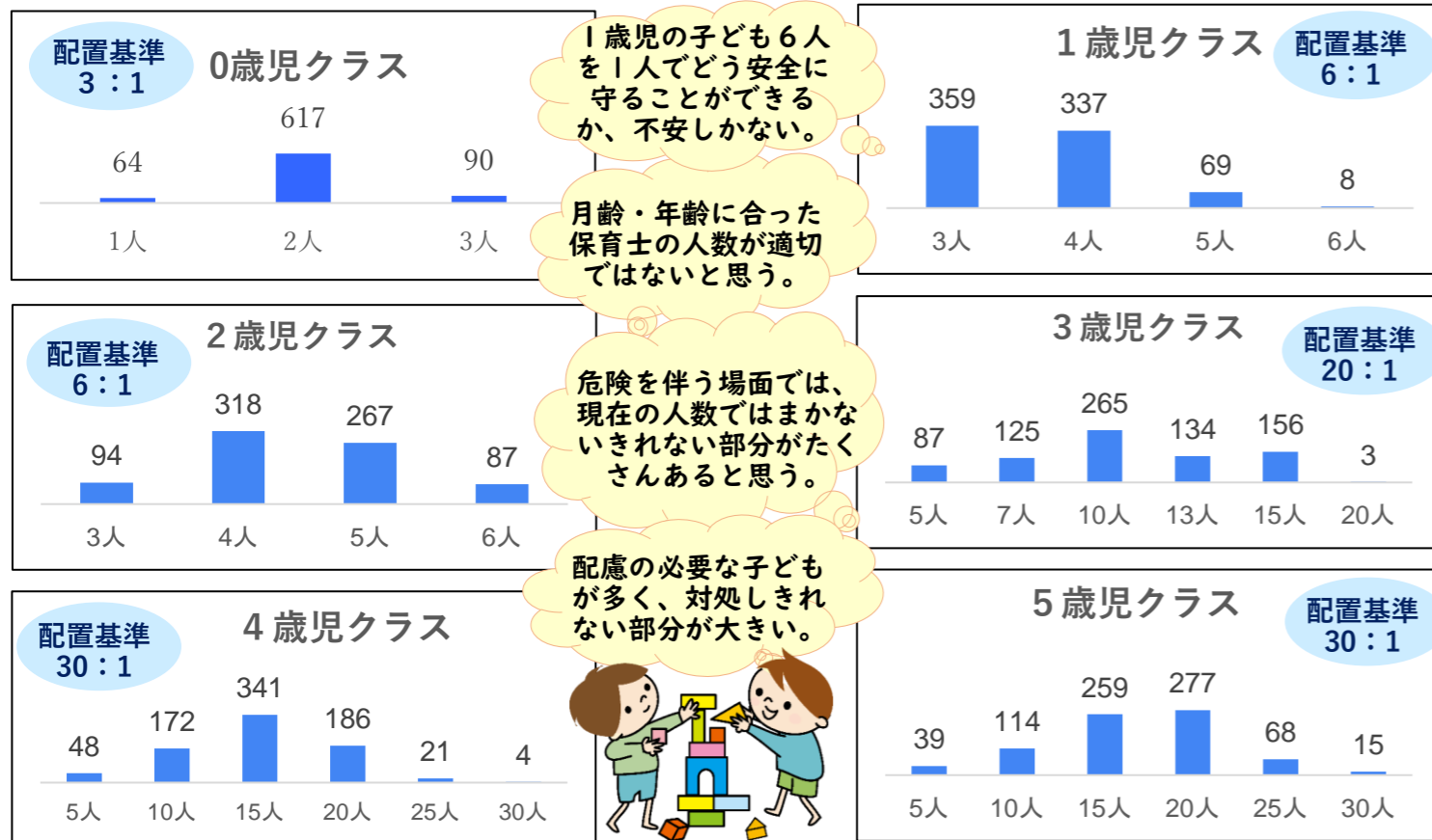


★保育所で働く中で、この人数(配置基準)ではもう限界と感じたエピソード(抜粋)

- ◎0歳児3人を受け持っていた時、歩行ができる子と、まだできない子の差は大きく、どうしても月齢の低い子に目がいきまじ、歩ける子に対し、目を離していた時、ケガをさせてしまった事があった。
- ◎子ども同士のトラブルで対応中に、他の子がまたトラブルになった場合。園庭で遊んでいる時、一人の子どもが危なく援助していた時、他の子に目が届かず危なくなる時がある。
- ◎外遊びの時、目が配れず遊びを制限してしまう。
- ◎給食の前後の準備後片付けの時間は子どもの排泄や着替えが重なり戦争状態。子ども同士のトラブルも起こりがちになる。
- ◎子どもの主体的保育が求められる中で今の基準では十分な保育ができないと感じるため。
- ◎1・2歳児の場合、かみつきや友達とのかかわりの中でトラブルがあり、一人がその子どもたちと話し合いをしている間、他の子にもトラブルがあったりして、落ち着いて子どもの思いを聞いてあげられなかった。
- ◎0歳児、1人にミルクをあげているときに、他児が泣き出すと抱っこしてあげることができなく辛かった。
- ◎一人ひとりが落ち着いて過ごすことができるようにパーテーションなどを設けたり、環境構成など工夫もするが、限界がある。一人ひとりとゆっくり関わりたいが、一人と関わっている間にトラブルがすぐ起こるのでかなり疲労する。
- ◎早出や居残りの当番が多く体力的に辛い。
- ◎まだ遊びたい、お母さんがいいなどの理由で泣いている子もいるときがあるため、その子への関わりも必要なのに、できない。
- ◎困っている子や関わりを求めている子などに対応したくても、生活の流れ的に対応できなかったり、深く関わるができなかったりした。



★保育士一人が受け持つ子どもの人数で適切だと思う人数



★保育士配置基準が改善されればどのような良い点があると思いますか。理想の保育を語ってください。(抜粋)

土日に仕事が入るなど全く休む時間のとれない保護者もあり、体を休めるためにも預けられるゆとりが保育園にもできるのではと期待します。(保護者)

一人一人の子どもとゆっくり関われ、保育士もゆとりがあるので安心して過ごせると思います。

園外保育にも出かけやすくなると思います。子ども一人一人と丁寧に関わることができる。待つと言わなくてよくなる。



一対一の関わりが十分にできる。成長をゆっくり見守り、ていねいな援助ができる。保育士の負担軽減。ゆとりをもって仕事ができる。業務時間内に事務処理ができる。

子どもに経験させてあげたい遊びの準備、また子ども自身がやってみたいと思える遊びの環境整備。園内や外部の様々な研修を受講し、子どもへの理解をさらに深めることができる。

一人一人とゆったり関わることができる。生活習慣を丁寧に伝えて身に付けさせることができる。



生活面でも一人一人に手をかけてあげられる。戸外あそびや散歩でも安全に配慮しながら、自由に遊んだり、いろんなところに連れて行ってあげられる。

今まで以上に子どもたちの命と安全を守ることができ、一人ひとりとじっくりゆったりかかわることができる。いつもあたたかく見守り、寄り添うことで、子どもたちが安心して過ごし、大切にされているなあと感じられるような保育。大好きな先生たちがいて、自分の気持ちを受けとめてもらったり、興味があること、好きなことができたりして、毎日保育所楽しい!!と子どもたちが思えるような保育。

ゆとりある保育ができれば、保育士も子ども達にゆっくり関わって遊び信頼関係を深めることができると思う。今の保育士の働き方は、しんどすぎると思う。保育士だって、人間。疲れたらイライラもするし、元気もなくなる。でもそれが逆になれば、笑顔も増えて、元気に働ける。それが子ども達にとってもいい影響を与えるのだと思う。

ゆっくりと一人ひとりの子どもと関わりが持てる。子どもの思いをゆっくりと聞いてあげられる。自分自身、気持ちにゆとりを持って保育ができる。

消費税を増税するかわりに、社会保障を持続可能にすることを打ち出したのが「社会保障と税の一体改革」。保育士「配置基準」を見直し、保育を手厚くすることが盛り込まれた。

公立は交付税措置となる。県内で、交付税措置をしている自治体は松山市くらい?

保育士配置基準見直し・政府の動き

2012年	自民、公明、民主の3党で合意した「社会保障と税の一体改革」で「保育士配置基準」見直し	約束♡♡
2015年	「子ども子育て支援制度」の開始時に見直す方針がだされた	実行されず😞 3歳児20対1を15対1へ改善 私立は公定価格に加算実施
2016年	ブログ「保育園落ちた日本死ね」が社会問題化	先送り😞
2017年	待機児童数2万6081人とピーク。むしろ基準の緩和がすすむ	先送り😞
2022年	待機児童が2944人。過去最少に	先送り😞
2023年	「こども家庭庁」発足、「異次元の少子化対策」を打ち出す	

政府は2023年3月31日「異次元の少子化対策」のたたき台(試案)を示し、「75年ぶりとなる保育士配置基準の改善」にも触れた。♡♡

1歳児は、6対1から5対1へ改善
4・5歳児は、30対1から25対1へ改善

しかし、よくよく内容を見てみると・・・

- ①新制度移行(2015年)「社会保障と税の一体改革」で9年間放置されてきたものを今回「加算」として実施するだけ。
- ②「加算」であって、最低基準の「保育士配置基準改善」ではない。
- ③財源を理由に実施されずまた放置される心配も😞

ご協力ありがとうございました。

